

MY WAY

マイウェイ総合英語

早稲田大学教授

安藤文人 [監修]

安河内哲也 [編著]

ハーバード大学教育学修士

Andrew Robbins [英文校閲]

三省堂

まえがき

本書は「**英文法編**」と「**四技能習得のポイント編**」の二つから構成されています。

最初に学習する**英文法**とは、**英語のルール**のことです。では、英文法はなんのために勉強するのでしょうか。英文法の「問題」を解くためでしょうか？

ちがいますね。みなさんは、**道具としての英語、使うための英語**を身につけたいはずですよ。そうすると、英文法の問題はドリルにすぎません。あくまでわかっているかどうかのチェックをするだけです。どんなに自転車のしくみや道路交通のルールに詳しくても、それだけでは自転車に乗れません。しくみやルールを知ったうえで、実際に自転車に乗る練習をくり返さないといけません。英文法と英語の関係も同じことです。英文法を勉強するときには、なんのために勉強するのか、その目的を忘れてはいけません。**話すためにルールをどう使うか**、さらには、**書くためにそのルールをどう発展させるか**が、英文法を学ぶ一番大きな目的なのです。

この本では、**英語を読んだり聞いたり、話したり書いたりする上で最低限知っておきたいルール**だけを勉強します。だから、英語が苦手だと思っている人も、心配せずにページをめくってみてください。「**たったこれだけでいいの？**」「**こんなに簡単でいいの？**」と思う人もいるかもしれませんが、大切なことは、「ルールをどれだけ知っているか」ではなく、「**どれだけ使いこなせるか**」です。ルールの基本をすばやく身につけて、どんどん英語を使うようにしましょう。

次に、後半の「**四技能習得のポイント編**」では、これからみなさんがリスニング・スピーキング、リーディング、ライティングを学習するにあたって重要なポイントを学習します。日本語と英語の音は大きく異なりますから、リスニング・スピーキングのポイントでは、とくに発音や音変化について詳しく説明しています。問題に取り組むとき、**紙に書いているだけでは、いつまでも聞いたり話せたりするようになりません**。ですから、英語を勉強するときは、**かならずネイティブの音声を聞いて**、その音声に合わせて口を動かすように心がけましょう。リーディングについては、これからみなさんが教科書や問題集で英文読解に取り組む上で重要な**精読**と**速読**のやり方について説明しています。英文を読むのが苦手な人も、この本で説明しているやり方どおりに勉強を続ければ、かならず読めるようになります。ライティングは四技能の中でもっとも難しいスキルですが、シンプルで相手に伝わりやすい英文を書くためにはちょっとしたコツがあります。本書でその秘訣を学んで、**どんどん英文を書くように**しましょう。

さあ、これからいっしょに英文法を学んで、英語が使いこなせるようになりましょう。そうすれば、きっとみなさんも、新しい世界への入り口が見つかるはずです。

編者

安河内 哲也

第一部 ● 英文法編

序 章 ● 英語の品詞と文

品詞	
① 名詞	11
② 代名詞	11
③ 動詞	11
④ 形容詞	11
⑤ 副詞	11
⑥ 前置詞	11
⑦ 接続詞	11
文と文の種類	
① 平叙文	12
② 疑問文	12
③ 命令文	12
④ 感嘆文	12

第一章 ● 動詞の種類と時制①

はじめに	
① be動詞と一般動詞	14
② 時制	14
基礎編	
① be動詞(現在形)	16
② 一般動詞(現在形)	18
③ be動詞(過去形)	20
④ 一般動詞(過去形)	21
⑤ 現在進行形	22
⑥ 過去進行形	24
⑦ 未来表現	25
⑧ 基本時制のまとめ	26
応用編	
① 未来を表すさまざまな表現①	27
② 未来を表すさまざまな表現②	28
章末問題	30

第二章 ● 動詞の種類と時制②

はじめに	
① 現在完了形とは	34
基礎編	
① 現在完了形(完了)	36
② 現在完了形(経験)	37
③ 現在完了形(継続)	38
④ 現在完了進行形	39
応用編	
① 過去完了形・過去完了進行形	41
② 未来完了形・未来完了進行形	43
章末問題	44

番外編① ● 文の構造

① 文の要素	47	② S+V(主語+動詞)	48
③ S+V+C(主語+動詞+補語)	49	④ S+V+O	50
⑤ S+V+O+O	50	⑥ S+V+O+C	51
⑦ There[Here]+be動詞+主語	52		
章末問題	53		

第三章 ● 助動詞

はじめに	56		
① 助動詞とは	56	② 助動詞の平叙文・否定文・疑問文	56
基礎編	58		
① can	58	② could	59
③ may, might	60	④ must, should	61
応用編	62		
① さまざまな助動詞(1) — will, would	62		
② さまざまな助動詞(2) — used to, had better, need	63		
③ shouldの特別な用法	64	④ 助動詞+have+過去分詞	65
⑤ 助動詞の慣用表現	66		
章末問題	67		

第四章 ● 受動態

はじめに	72		
基礎編	72		
● 受動態の基本形	72		
応用編	74		
① byを使わない受動態	74	② さまざまな形の受動態	75
③ SVOO/SVOCの文の受動態	76		
章末問題	78		

第五章 ● 不定詞

はじめに	91
基礎編	
① 名詞的用法	84
② 形容詞的用法	85
③ 副詞的用法	86
応用編	
① 疑問詞＋不定詞	87
② 自動詞＋不定詞, SVO＋不定詞	88
③ 進行形・受動態・完了形の不定詞, 不定詞の否定	89
④ 知覚動詞・使役動詞など	90
章末問題	91

第六章 ● 動名詞

はじめに	91
基礎編	
● 動名詞の基本	96
応用編	
① 動名詞の否定, 動名詞の受動態・完了形, 動名詞の意味上の主語	98
② 動名詞を使った表現	99
章末問題	100

第七章 ● 分詞

はじめに	91
基礎編	
● 分詞の基本	106
応用編	
① 知覚動詞・使役動詞	108
② 分詞構文	109
③ その他の分詞構文	110
章末問題	111

第八章 ● 比較

はじめに	91
基礎編	
① 比較級	116
② 比較級のさまざまな表現	117
③ 最上級・同等比較	118
④ 最上級・同等比較のさまざまな表現	120
応用編	
● 比較のさまざまな表現(応用)	121
章末問題	122

第九章 ● 関係詞

はじめに 127

基礎編 128

① 関係代名詞(主格) 128	② 関係代名詞(目的格) 129
③ 目的格の関係代名詞の省略 130	④ 関係代名詞whose(所有格) 131
⑤ 関係代名詞what 132	⑥ 前置詞+関係代名詞 133
⑦ 関係副詞 134	

応用編 135

① 関係代名詞, 関係副詞の非制限用法 135	
② 複合関係代名詞 137	③ 複合関係副詞 139

章末問題 141

第十章 ● 仮定法

はじめに 144

- 仮定法とは 144

基礎編 146

① 仮定法過去・仮定法過去完了 146	
② 仮定法過去完了+仮定法過去, wish+仮定法 147	

応用編 149

① 仮定法未来 148	② as if+仮定法過去・過去完了 149
③ 仮定法現在 150	④ if節に代わる表現 151
⑤ 条件節のIfの省略 152	

章末問題 153

第十一章 ● 否定

はじめに 154

基礎編 154

① 部分否定と全体否定 158	② 準否定 159
③ 否定の慣用表現 160	

章末問題 161

番外編② ● 名詞・冠詞

① 名詞の種類 163	② 集合名詞 165
③ 物質名詞 166	④ 冠詞の基本 166
⑤ 不定冠詞 167	⑥ 定冠詞 167

第十二章 ● 代名詞

はじめに	172
基礎編	
① 人称代名詞・所有代名詞	172
② 指示代名詞	174
③ 再帰代名詞	175
④ 不定代名詞① one, none	176
⑤ 不定代名詞② some, any	177
⑥ 不定代名詞③ another, other	178
⑦ 不定代名詞④ each, every, both	179
⑧ 不定代名詞⑤ all, either, neither	180
⑨ 複合不定代名詞	182
章末問題	183

第十三章 ● さまざまな構文・接続詞

はじめに	188
基礎編	
① 無生物主語の構文	188
② 強調・強調構文	189
③ 同格	190
④ 接続詞that	191
主な接続詞	192
章末問題	194

番外編③ ● 疑問

① 疑問文の種類	196
② 疑問文の種類	199
③ 否定疑問	199
④ 付加疑問	199
⑤ 疑問の慣用表現	200
おもな前置詞	201
不規則動詞活用表	203

第二部 ● 四技能習得のポイント編

第一章 ● リスニングとスピーキングのポイント

はじめに	
●	たくさん聞けば英語は聞こえるようになる? 206
発音・スピーキング	
①	英語の子音 207
②	単語の終わりの子音 211
③	子音連続 211
④	英語の母音 213
⑤	単語のアクセント型 217
⑥	注意すべき単語の発音 217
⑦	単語の変化形の発音 218
⑧	文の発音 220
リスニング	
①	さまざまな発音 226
②	文の聞き取り 227

会話表現 230
------	-----------

第二章 ● リーディングのポイント

1. 精読と多読	
2. 精読	
●	文構造 242
3. 多読・速読	
①	スラッシュ・リーディング 247
②	リーディングとリスニングの融合 248
③	パラグラフ・リーディング 252

第三章 ● ライティングのポイント

1. はじめに	
2. 注意すべき文法事項	
①	可算名詞と不可算名詞 256
②	時制 257
3. 和文英訳	
①	主語と動詞 257
②	作文しやすい日本語に言い換える 259
4. 自由英作文・英文エッセイ	
①	パラグラフ・ライティング 261
②	パラグラフ・ライティングの手順 261
③	パラグラフの例 262
④	賛成・反対の文を書く 263

章末問題 解答 265
---------	-----------

索引 295
----	-----------

本書の使い方

本書は、「第一部—英文法編」と「第二部—四技能習得のポイント編」の二部構成です。

第一部は十三章からなり、それぞれ「はじめに」、「基礎編」、「応用編」の3つから成っています（「応用編」がない章もあります）。また、各章の最後に章末問題が配置されています。

第二部は、英語を学習する上で重要なリスニング・スピーキング・リーディング・ライティングのスキルの伸ばし方について説明しています。練習問題を解いて、内容をしっかり身につけるようにしましょう。

● 第一部

はじめに

これから学習する事項について、ポイントをまとめています。

基礎編

その章で扱う文法事項のうち、基本的で重要なものを学習します。

例文は読むだけでなく、音声を聞いたり手で書いたりして、何も見ずにいえるようになるまで繰り返し学習しましょう。

応用編

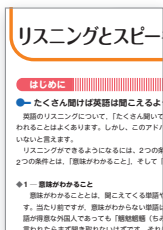
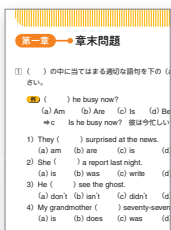
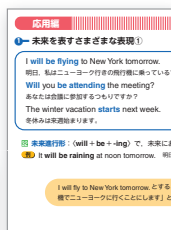
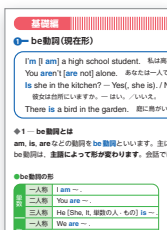
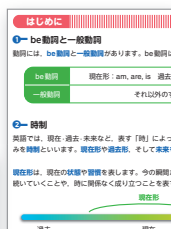
その章で扱う文法事項のうち、より発展的なものを学習します。

章末問題

その章の学習事項を確認する問題です。

● 第二部

四技能の学習法について、一つひとつ学習していきます。



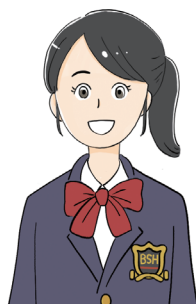
マンガ ● 登場人物紹介



Sho Yamagami

山上 翔

青空高校1年生



Rin Mikawa

三河 凛

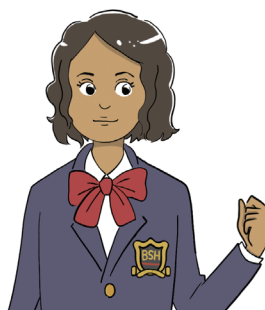
青空高校1年生



Liam Cook

リアム・クック

アメリカ合衆国出身の
交換留学生



Freya Smith

フレヤ・スミス

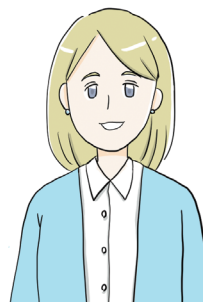
南アフリカ出身の
交換留学生



Takuya Tanaka

田中 拓也

青空高校の英語教師



Alicia Ward

アリシア・ウォード

青空高校の英語教師



Max

マックス

お調子者の喋る
ウサギ

序章 英語の品詞と文

品詞

品詞とは、単語を形や働きなどによって分類したものです。

中心的な意味を表す言葉	名詞	代名詞	動詞
かざり言葉	形容詞	副詞	
つなぎ言葉	前置詞	接続詞	

1— 名詞

名詞は、人やもの、ことがらを表します。また、抽象的な考えを表します。

例 teacher 先生 apple りんご London ロンドン festival 祭り peace 平和

2— 代名詞

代名詞は、名詞の代わりをします。

例 I 私 this これ someone 誰か

3— 動詞

動詞は、動作や状態を表します。

例 swim 泳ぐ [動作] live 住んでいる [状態]

4— 形容詞

形容詞は、名詞や一部の代名詞を説明します。

例 big 大きい famous 有名な real 本当の

日本語では、主に「い、な、の」で終わる言葉が形容詞です。



5— 副詞

副詞は、動詞、形容詞、副詞、文の全体や一部などを説明します。

ふつう、名詞や代名詞以外の語句を説明します（例外もあります）。

例 tomorrow 明日 very とても generally 一般的に

6— 前置詞

前置詞は、〈前置詞＋（代）名詞〉のセットでまとまった意味を作ります。

ほとんどの前置詞には、複数の意味があります。

例 at in on

7— 接続詞

接続詞は、語句と語句、文と文など、さまざまなものをつなぎます。

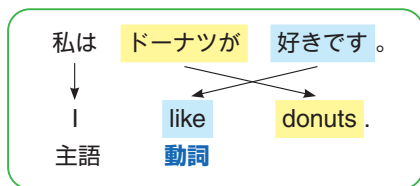
例 and そして because ～ので

④① 以下の文に含まれる単語の品詞をそれぞれ答えよう。

Jim went to Kyoto and saw beautiful temples yesterday.

文と文の種類

文は、大文字で始めて、「.」、「?」、「!」で終わります。
英語の文は、**主語で始まり、すぐ後ろに動詞が来る**のが基本です。



1 平叙文

平叙文 (へいじょぶん) は、単に**情報や事実を伝える文**で、ふつう「.」で終わります。
肯定文 (こうていぶん) と、**否定文** があります。

肯定文	情報や事実をそのまま伝える文
否定文	notなどを使って、打消しの意味を伝える文

- 例** **肯定文** My father is from Hokkaido. 私の父は北海道出身です。
否定文 I am **not** hungry. 私はお腹が空いていません。

2 疑問文

疑問文 は、**相手に質問する文**で、「?」で終わります。(⇒第〇〇章 (p.〇〇))

- 例** Do you like coffee? コーヒーは好きですか。

3 命令文

命令文 は、**相手に命令、禁止、提案する文**です。命令文は、ふつう主語を省きます。

命令	動詞の原形	～.	～なさい。
禁止	Don't	動詞の原形	～. ～してはいけません。
提案	Let's	動詞の原形	～. いっしょに～しよう。

- 例** **Shut** your mouth. 口を閉じなさい。 **Don't move.** 動いてはいけません。
Let's play baseball. いっしょに野球をしよう。

ていねいに頼みたいときは、文の最初や終わりに please をつけます。

Please open the door. = Open the door, **please**. 扉を開けてください。

4 感嘆文

感嘆文 は、**感情を表現する文**で、「!」で終わります。

What	(a[an])	形容詞	名詞 (主語 動詞)!	なんと～なんだ!
How		形容詞 [副詞]	(主語 動詞)!	なんと～なんだ!

- 例** **What a beautiful flower** that is! なんと美しい花なんだ!
How rude! なんと失礼なんだ!

第一章

動詞の種類と時制①

はじめに

- ① be動詞と一般動詞
- ② 時制

基礎編

- ① be動詞(現在形)
- ② 一般動詞(現在形)
- ③ be動詞(過去形)
- ④ 一般動詞(過去形)
- ⑤ 現在進行形
- ⑥ 過去進行形
- ⑦ 未来表現
- ⑧ 基本時制のまとめ

応用編

- ① 未来を表すさまざまな表現①
- ② 未来を表すさまざまな表現②

動詞の種類と時制①

はじめに

① be動詞と一般動詞

動詞には、**be動詞**と**一般動詞**があります。be動詞は、主語により形が変わります。

be動詞	現在形：am, are, is 過去形：was, were 原形：be
一般動詞	それ以外のすべての動詞

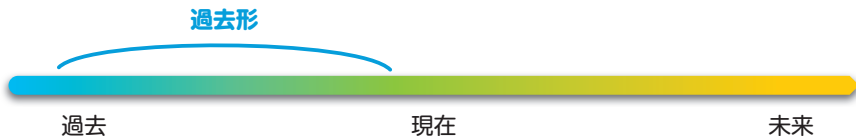
② 時制

英語では、現在・過去・未来など、表す「時」によって動詞の形が変わります。このしくみを**時制**といいます。**現在形**や**過去形**、そして**未来を表す表現**などがあります。

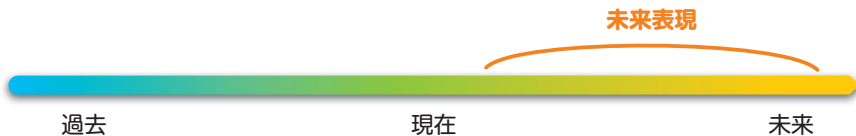
現在形は、現在の**状態**や**習慣**を表します。今の瞬間だけではなく、過去から続き、未来も続いていくことや、時に関係なく成り立つことを表すのが基本です。

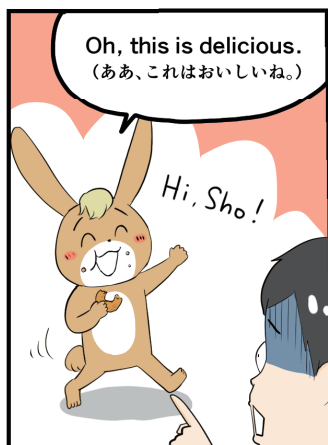
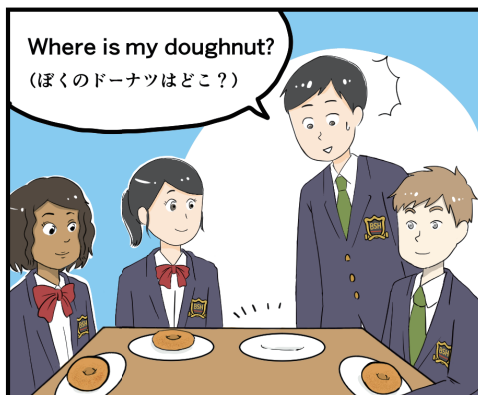


過去形は、「(現在ではなく) 過去のこと」を表します。



未来表現は、〈will + 動詞の原形〉や〈be going to + 動詞の原形〉など、さまざまなものがあり、それぞれ少しずつ意味あいがあります。





① be動詞(現在形)

I'm [I am] a high school student. 私は高校生です。 1

You aren't [are not] alone. あなたは一人ではありません。 2

Is she in the kitchen? — Yes(, she is). / No(, she isn't). 3

彼女は台所にいますか。 — はい。 / いいえ。

There is a bird in the garden. 庭に鳥がいます。 4

◆1 — be動詞とは

am, is, areなどの動詞を**be動詞**といいます。主に「～は…である」という意味です。be動詞は、**主語によって形が変わります**。会話では、もっぱら短縮形が用いられます。

●be動詞の形

単数	一人称	I am ～.
	二人称	You are ～.
	三人称	He [She, It, 単数の人・もの] is ～.
複数	一人称	We are ～.
	二人称	You are ～.
	三人称	They [複数の人・もの] are ～.

※一人称は話し手 (I, we), 二人称は聞き手 (you), 三人称はそれ以外です。

●〈代名詞+be動詞〉の短縮形

I am	I'm
you are	you're
he is	he's
she is	she's
it is	it's
we are	we're
they are	they're

◆2 — be動詞(現在形)の平叙文・否定文・疑問文

1 平叙文 (肯定文) : 〈**主語 + be動詞**〉で文を始めます。be動詞の後ろには、形容詞や名詞(補語→p.47)が続きます。

2 否定文 : be動詞の後ろに**not**を置きます。短縮形の**aren't**や**isn't**も使われます。

3 疑問文 : 〈**be動詞 + 主語**〉で文を始めます。答えは、ふつう〈**Yes, 代名詞 + be動詞.**〉「はい、そうです。」か〈**No, 代名詞 + be動詞 + not.**〉「いいえ、ちがいます。」です。

疑問文に答えるときは、Yes. 「はい。」または
No. 「いいえ。」一語でもかまいません。



● be動詞(現在形)の平叙文・否定文・疑問文

平叙文	主語	be動詞			
	He	is	busy.	彼は忙しい。	
否定文	主語	be動詞	not		
	He	is	not busy.	彼は忙しくない。	
疑問文	be動詞	主語			
	Is	he	busy? ()	彼は忙しいですか。	
	- Yes,	he	is. / No,	he	isn't.
					はい、そうです。 / いいえ、ちがいます。

疑問文は、文末を上がり調子にします。



◆ 3 — 存在を表す場合

4 be動詞には、「～がある、いる」という意味もあります。とくに、〈There + be動詞 + 主語～.〉という構文で、「～がある、いる」という意味を表します。この構文では、主語が単数の場合にはbe動詞はis、複数の場合はareになることに注意しましょう。

is + 単数の主語

例 There **is** a girl in the park. 公園に少女が一人います。

are + 複数の主語

There **are** some girls in the park. 公園に何人かの少女がいます。

参考 〈There + be動詞 + 主語～.〉の形では、主語は不特定の人やもの(→167ページ)です。特定の人やものが主語になる場合は、〈There + be動詞 + 主語～.〉の形を使いません。

× There is **Ken** in the classroom. [Kenは特定の人]

○ There is **a boy** in the classroom. [a boyは不特定の人]

参考 〈主語 + be動詞〉の形でも「～がいる、ある」の意味になります。このときは、主語は特定の人やものでもかまいません。

例 **My father is** in the kitchen. 私の父は台所にいます。

Twenty eggs are in the basket. 20個の卵がかごの中にあります。

be動詞には、「～は…である」という意味と「～がある、いる」という意味があります。



2 一般動詞(現在形)

You **play** soccer every day. あなたは毎日サッカーをします。 5

He **doesn't** [**does not**] **live** in Kyoto. 彼は京都に住んでいません。 6

Do they **like** coffee? — Yes(, they do). / No(, they don't). 7

彼らはコーヒーが好きですか。— はい。/ いいえ。

◆1 一般動詞とは

be動詞以外の動詞を**一般動詞**といいます。一般動詞の現在形は主に以下の意味を表します。

- ① 現在の習慣的な動作
- ② 現在の状態
- ③ 不変の事実【いつでも成り立つことがら】

- 例
- ① We **play** tennis every day. [現在の習慣的な動作] 私たちは毎日テニスをします。
 - ② My grandparents **live** in Paris. [現在の状態] 私の祖父母はパリに住んでいます。
 - ③ An hour **has** 60 minutes. [不変の事実] 1時間は60分です。

◆2 一般動詞の平叙文・否定文・疑問文

5 **平叙文**：動詞の形は原形（辞書の見出し語の形）と同じです。主語が三人称単数（I, you以外で、ひとつだけのもの）のときは、sやesをつけます。

●三人称単数のsのつけかた

原則	sをつける	play → plays , take → takes
語尾がs, sh, ch, x, o	esをつける	go → goes , watch → watches
語尾が〈子音字+y〉	語尾のyをiに変えてesをつける	study → studies , fly → flies
不規則変化		have → has

子音字は、a, i, u, e, o以外のアルファベットです。



6 **否定文**：〈**don't** [**do not**] + 動詞の原形〉です。ただし、主語が三人称単数のときは、〈**doesn't** [**does not**] + 動詞の原形〉にします。

7 **疑問文**：〈**Do** + 主語 + 動詞の原形～?〉の形をとります。主語が三人称単数のときは、〈**Does** + 主語 + 動詞の原形～?〉になります。答えは、ふつう〈**Yes**, 代名詞 + **do** [**does**].〉か〈**No**, 代名詞 + **don't** [**doesn't**].〉です。

● 一般動詞の平叙文・否定文・疑問文

平叙文 主語 I 一般動詞 get up at seven. 私は7時に起きます。

否定文 主語 I don't 動詞の原形 get up at six. 私は6時に起きません。

疑問文 Do 主語 you 動詞の原形 get up at seven? (↗) あなたは7時に起きますか。
 — Yes, I **do**. / No, I **don't**. はい、そうです。 / いいえ、ちがいます。

● 主語が三人称単数のとき

平叙文 主語 He 一般動詞 gets up at seven. 彼は7時に起きます。

否定文 主語 He doesn't 動詞の原形 get up at six. 彼は6時に起きません。

疑問文 Does 主語 he 動詞の原形 get up at seven? (↗) 彼は7時に起きますか。
 — Yes, he **does**. / No, he **doesn't**. はい、そうです。 / いいえ、ちがいます。

● 一般動詞の形(例:take)

	平叙文	否定文	疑問文
単数	I take ~ .	I don't take ~ .	Do I take ~ ?
	You take ~ .	You don't take ~ .	Do you take ~ ?
	He [She, It] takes s ~ .	He [She, It] doesn't take ~ .	Does he [she, it] take ~ ?
複数	We take ~ .	We don't take ~ .	Do we take ~ ?
	You take ~ .	You don't take ~ .	Do you take ~ ?
	They take ~ .	They don't take ~ .	Do they take ~ ?

主語が三人称単数のときだけ動詞の形が変わります。



3 be動詞(過去形)

I **was** busy yesterday. 私は昨日忙しかったです。

8

You **weren't** [**were not**] busy yesterday.

9

あなたは昨日忙しくありませんでした。

Were they angry at me? 彼らは私に怒っていたのですか。

10

◆1 be動詞(過去形)の形

be動詞の過去形は、主語によって**was**か**were**のいずれかになります。

●be動詞の形

単数	一人称	I was ~.
	二人称	You were ~.
	三人称	He [She, It, ひとりの人・ひとつのもの] was ~.
複数	一人称	We were ~.
	二人称	You were ~.
	三人称	They [複数の人・もの] were ~.

wasになるのは、一人称単数と三人称単数のときです。



◆2 be動詞(過去形)の平叙文・否定文・疑問文

8 **平叙文**：〈主語＋be動詞〉で文を始めます。

9 **否定文**：be動詞の後ろに**not**を置きます。短縮形の**wasn't**や**weren't**も使われます。

10 **疑問文**：〈**Was** [**Were**]＋主語～?〉にします。答えは、ふつう〈**Yes**(, 代名詞＋**was** [**were**]).〉か〈**No**(, 代名詞＋**wasn't** [**weren't**]).〉です。

平叙文 主語 be動詞
He **was** busy. 彼は忙しかったです。

否定文 主語 be動詞 not
He **was not** busy. 彼は忙しくありませんでした。

疑問文 be動詞 主語
Was he busy? (↑) 彼は忙しかったですか。

—Yes, he **was** ./ No, he **wasn't** . はい、そうです。/いいえ、ちがいます。

4 一般動詞(過去形)

We **stayed** in Tokyo for three days. 私たちは3日間東京に滞在しました。 11

He **came** to school by bus. 彼はバスで学校にきました。 12

They **didn't [did not]** like the plan. 13

彼らはその計画が好きではありませんでした。

Did you **see** him?—Yes(, I did). / No(, I didn't). 14

彼に会いましたか。— はい。/ いいえ。

◆1 一般動詞の過去形

一般動詞の過去形は、主語にかかわらず同じ形です。

●規則活用(不規則活用については→pp.203-204)

原則	edをつける	play—played, walk—walked
語尾がe	dをつける	live—lived, use—used
語尾が〈短母音+子音字〉	最後の子音字を重ねてedをつける	stop—stopped, hop—hopped
語尾が〈子音字+y〉	語尾のyをiに変えてedをつける	cry—cried, study—studied

参考 母音とは「ア、イ、ウ、エ、オ」の音です。短母音は短い「ア、イ、ウ、エ、オ」です。母音には、ほかに「アー、オー」などと伸ばす長母音や、「アイ」「アウ」「エイ」のような二重母音もあります。

◆2 一般動詞(過去形)の平叙文・否定文・疑問文

11, 12 平叙文：〈主語+動詞の過去形〉で文を始めます。11のstayedは規則活用，12のcameは不規則活用（原形はcome）です。

13 否定文：主語にかかわらず，〈didn't [did not]+動詞の原形〉です。

14 疑問文：〈Did+主語+動詞の原形〜?〉です。

答えは、ふつう〈Yes(, 代名詞+did).〉か〈No(, 代名詞+didn't [did not]).〉です。

平叙文	主語	一般動詞	I played baseball yesterday. 私は昨日野球をしました。
否定文	主語	didn't 動詞の原形	I didn't play baseball yesterday. 私は昨日野球をしませんでした。
疑問文	Did 主語	動詞の原形	Did you play baseball yesterday? (↗) あなたは昨日野球をしましたか。 —Yes, I did. / No, I didn't. はい、しました。/ いいえ、しませんでした。

5 現在進行形

I'm [I am] **writing** an essay about my family. 15

私は家族について作文を書いています。

It **isn't** [is not] **raining** hard. 16

雨は強く降っていません。

Are you **listening** to me? 17

私が言っていることを聞いていますか。

◆1 現在進行形の形

15 平叙文：現在進行形は、〈am [are, is] + 動詞の-ing形〉で表します。

●-ing形の作り方

原則	ingをつける	buy-buy ing , find-find ing
eで終わる動詞	eを取ってingをつける	come-com ing , give-g iving
ieで終わる動詞	ieをyに変えてingをつける	die-d ying , lie-l ying
〈短母音 + 子音字〉で終わる動詞	最後の子音字を重ねてingをつける	cut-cut ting , begin-b eginning
cで終わる動詞	kingをつける	picnic-picn icking , panic-pan icking

16 否定文：〈am [are, is] + not + 動詞の-ing形〉で表します。

17 疑問文：〈Am [Are, Is] + 主語 + 動詞の-ing形 ~?〉で表します。

◆2 現在進行形の主な意味

① 現在進行中の動作

例 Ken **is cooking** dinner. ケンは夕食を作っています。

現在形のKen **cooks** dinner. (ケンは夕食を作ります。)が現在の習慣を表すのに対して、現在進行形は「今作っている最中である」ことを表します。



② 動作の反復

例 Someone **is knocking** on the door. だれかがドアをたたいています。

例 She **is always making** mistakes. 彼女は間違いをしばしば犯します。

現在進行形にalways (いつも) やoften (よく) がつくと、話し手のいらだちや不満を表すことがあります。



③ 変化の過程

例 The girl **is growing** tall these days. その少女はこの頃背が伸びてきています。

「動作」と「状態」

動詞は、主に「動作」と「状態」の意味を表します。

動詞が「長く続く状態」を表すときは、原則として進行形にはしません。

例 × I **am knowing** his brother. ○ I **know** his brother. 私は彼の兄を知っています。

短時間にやったりやめたりすることができることがらが「動作」、
できないことがらが「状態」です。



ただし、「一時的な状態」や、「変化の過程」を表すときは、進行形にする場合があります。

例 At present, Miyuki **is living** at her aunt's.
(ふだんは違うけれども) 現在のところ、ミユキはおばと一緒に住んでいます。

例 You **are not being** fair. 君は (いつもは違うけれども、今は) フェアじゃないよ。

例 She **is resembling** her mother. 彼女は母親に似てきている。

なお、動詞の中には、「状態」の意味しか持たないもの、「状態」の意味と「動作」の意味を両方持つもの、「動作」の意味しか持たないものがあります。

① 状態の意味しか持たず、原則として進行形にしないもの

belong (所属する) like (好きである) understand (理解する) など

例 I **belong** to the art club. 私は美術部に所属しています。

例 I **like** your shoes. あなたの靴が好きです。

② 状態の意味と動作の意味を両方持つもの

have (持つ [状態] / 食べる・する [動作]) look (見える [状態] / 見る [動作]) など

例 I **have** two brothers. 私には兄弟が二人います。[状態]

例 He **is having** dinner. 彼は夕食を食べています。[動作]

例 She **looks** fine. 彼女は元気そうに見えます。[状態]

例 Everyone **is looking** at you. みんなが君を見ているよ。[動作]

③ 動作の意味しか持たないもの

eat (食べる) write (書く) など

例 I don't **eat** meat. 私は肉を食べません。

例 My father **is writing** a letter. 私の父は手紙を書いています。

6 過去進行形

The dog **was barking** at a stranger.

18

その犬が見知らぬ人に吠えていました。

My parents **weren't [were not] sitting** on the sofa when I got home.

19

家に帰ると両親はソファーには座っていませんでした。

Were you sleeping when I called you last night?

20

私が昨夜電話をしたとき、あなたは寝ていましたか。

◆1 過去進行形の形

18 **過去進行形**は、〈**was [were] + 動詞の-ing形**〉で表します。動詞の-ing形の作り方は、現在進行形と同じです。

19 **否定文**：〈**was [were] + not + 動詞の-ing形**〉で表します。

20 **疑問文**：〈**Was [Were] + 主語 + 動詞の-ing形 ~?**〉で表します。

◆2 過去進行形の主な意味

① 過去のある時点で進行していた動作

例 Jun **was sweeping** the floor when we came into the room.

私たちが部屋に入ると、ジュンは床を掃いていました。

② 過去に繰り返されていた動作

例 He **was always complaining** about my cooking.

彼はいつも私の料理に不満を言ってばかりいました。

現在進行形と同様、always（いつも）やoften（よく）などの語句を過去進行形とともに使うと、話し手の不満やいらだちを表すことがあります。



7 未来表現

I'll [I **will**] be back soon. 間もなく戻ります。 21

My cousin **will** be 20 years old next month. 22

いとこは来月、二十歳になります。

We **are going to** have a party for Sam. 23

私たちは、サムのためにパーティーをする予定です。

It **is going to** snow soon. 間もなく雪が降ります。 24

Kate **is coming** to the party tonight. ケイトは今晚パーティーに来ます。 25

◆ 1 未来を表すさまざまな表現

未来を表す表現には、〈will + 動詞の原形〉、〈be going to + 動詞の原形〉、現在進行形など、さまざまな言い方があります。

◆ 2 will が表す未来

21, 22 will の平叙文は〈will + 動詞の原形〉の形をとります。否定文は〈won't [will not] + 動詞の原形〉、疑問文は〈Will + 主語 + 動詞の原形～?〉です。

- (1) **意志未来**：主語の意志、特に**その場で決めたこと**を表します。主語はふつう一人称 (I や we) です。

例 I'll [I **will**] answer the phone. 私が電話に出ます。

- (2) **単純未来**：自然のなりゆきで起こることや、**未来の予測・判断**を表します。

例 It **will** rain tomorrow. 明日は雨が降るだろう。[自然のなりゆき]

例 He **will** come back soon. 彼はすぐ戻ってくるだろう。[未来の予測]

◆ 3 be going to が表す未来

23, 24 平叙文は〈be going to + 動詞の原形〉の形をとります。be 動詞の形は、主語によって変わります。否定文は〈be 動詞 + not going to + 動詞の原形〉、疑問文は〈be 動詞 + 主語 + going to + 動詞の原形～?〉です。

- (1) **計画・意図**：前から決めていたことを表します。

例 We **are going to buy** a new car next week. 私たちは来週新車を買う予定です。

- (2) **近い未来の予測**：何らかの兆候があつて「起こりそうだ」という判断を表します。

例 I'm **going to be** late. 遅れそうです。

◆ 4 現在進行形が表す未来

25 〈be 動詞 + 動詞の-ing 形〉(現在進行形) も未来の予定を表します。とくに、個人的な予定について、もう準備を始めていたり、心づもりができていたりするときによく使います。

例 We **are visiting** him tomorrow. 私たちは明日彼を訪問するつもりです。

8 基本時制のまとめ

He **exercises** every day. [現在の習慣的な動作] 26

彼は毎日運動をしています。

My father **is cooking** dinner. [現在進行中の動作] 27

私の父は夕食を作っています。

We **had** a good time at the party. [過去の動作] 28

私たちはパーティーでよい時間を過ごしました。

The dog **was running** along the beach. [過去に進行していた動作] 29

犬が海辺沿いを走っていました。

I **will see** a doctor tomorrow. [意志未来] 30

私は明日医者にかかります。

They **are going to get** married in June. [計画・意図] 31

彼らは6月に結婚します。

26 現在形：現在の習慣的な動作や状態を表します。一般動詞は、主語が三人称単数の場合、動詞に-(e)sをつけます。なお、一度限りの動作は現在形で表すことはできません。

27 現在進行形：現在進行中の動作を表します。長く続く状態を表す動詞は、原則として現在進行形にはしません(例外については→p.23)。

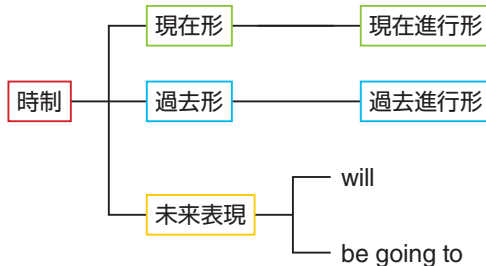
28 過去形：過去の動作や状態を表します。規則動詞の場合、動詞に-(e)dをつけます。不規則動詞はそれぞれ活用が異なります。(→pp.203-204)

29 過去進行形：過去に進行していた動作を表します。

30 未来表現——will：〈will + 動詞の原形〉で、意志や単純な未来を表します。

31 未来表現——be going to：〈be going to + 動詞の原形〉で、近い未来の予測や計画・意図を表します。

これまで勉強してきた時制のまとめ



① 未来を表すさまざまな表現①

I **will be flying** to New York tomorrow. 32

明日、私はニューヨーク行きの飛行機に乗っているでしょう。

Will you be attending the meeting? 33

あなたは会議に参加するつもりですか？

The winter vacation **starts** next week. 34

冬休みは来週始まります。

32 未来進行形：〈will + be + -ing〉で、未来における**自然のなりゆき**を表します。

例 It **will be raining** at noon tomorrow. 明日の正午には雨が降っているでしょう。

I will fly to New York tomorrow. とすると、「明日、私は飛行機でニューヨークに行くことにします」と意志未来を表します。



33 未来進行形——予定・計画：〈Will you be -ing ~?〉で相手の**予定を聞く**ていねいな表現になります。

例 **Will you be coming** back soon? あなたはすぐに戻っていらっしゃいますか。

34 現在形——確定した未来：スケジュールや時刻表など、**ほぼ確定した未来や予定**については、**現在形**で表します。ふつう、in Septemberのように時を表す語句を伴います。

例 The museum **opens** tomorrow. 美術館は明日開館します。

現在形は、主に団体・企業などの予定を表すときに使われます。



② 未来を表すさまざまな表現②

I will call you when he **comes** back. 35

彼が帰ってきたらあなたに電話します。

The train **is about to leave** the station. 36

列車は駅を出ようとしているところです。

I **was on the point of going** to bed when you called me. 37

君が電話をしてきたとき、私は寝ようとしているところでした。

The president **is to visit** China next month. 38

大統領は来月中国を訪れる予定です。

◆ 1 — 時や条件を表す副詞節の中で使う現在形

35 **when** や **if** など、**時や条件を表す接続詞に続く副詞節**の中では、未来の内容でも **will** を使わず、動詞は現在形になります。

例 I will go to the beach if it **is** (× *will be*) fine tomorrow.

副詞節

明日晴れたら、ビーチに行くつもりです。

ただし、**when** や **if** の作る節が名詞節の場合は、未来の内容を現在形で表さず、未来の表現を使います。

例 I don't know if it **will be** (× *is*) fine tomorrow. 明日晴れるかどうか、私は知りません。

名詞節

下の二つの文は、形は似ていますが意味は大きく変わります。

例 Please tell me when lunch **will be** ready.

名詞節

いつ昼食の準備ができるかを私に教えてください。

例 Please tell me when lunch **is** ready. 昼食の準備ができたら私に教えてください。

副詞節

● 名詞節を作る接続詞はこれだけ！

	疑問の意味を持つもの	それ以外
名詞節を作る接続詞	if [whether] (〜かどうか)	that (〜ということ)
	when (いつ〜か)	—
	how (どのようにして〜か)	—

他の意味を持つ接続詞は副詞節を作ります。

◆ 2 — 未来の意味を表す慣用表現

36 〈be about to + 動詞の原形〉：「～しようとしている」という意味で、すぐ後の未来を表します。

例 The airplane **is about to take off**. その飛行機は離陸しようとしているところです。

37 〈be on the point of + 動詞の-ing形〉：これも、すぐ後の未来を表します。

例 I **was on the point of going out** when the earthquake occurred.

地震が起こったとき、私はまさに外出しようとしているところでした。

38 〈be to + 動詞の原形〉：公式の予定を表す、ややかたい言い方です。

例 He **is to arrive** tomorrow evening. 彼は明日の夕方に到着予定です。

● 未来を表すさまざまな表現

	使われる場面	文の構造
未来進行形	自然のなりゆき	〈will + be + -ing〉
	予定・計画を聞く	〈Will you be + -ing ~ ?〉
現在形	確定した未来・予定	〈S + 動詞の現在形〉
	時や条件を表す副詞節の中	〈if [whether, when, how, that] + S + 動詞の現在形〉
慣用表現	すぐ後の未来	〈be about to + 動詞の原形〉
		〈be on the point of + -ing〉
	公式の予定	〈be to + 動詞の原形〉

- ① () の中に当てはまる適切な語句を下の (a) ~ (d) から選んで文全体を言いなさい。

例 () he busy now?

(a) Am (b) Are (c) Is (d) Be

→c Is he busy now? 彼は今忙しいですか。

1) They () surprised at the news.

(a) am (b) are (c) is (d) be

2) She () a report last night.

(a) is (b) was (c) write (d) wrote

3) He () see the ghost.

(a) don't (b) isn't (c) didn't (d) wasn't

4) My grandmother () seventy-seven next week.

(a) is (b) does (c) was (d) will be

- ② () の語句を使って、日本語の意味を表す文を作りなさい。なお、必要に応じて形を変えること。

例 彼らは平日にサッカーをしますか。(play soccer, on weekdays)

→Do they play soccer on weekdays?

1) その漫画本は来週に売り切れているでしょう。(The comic books, sold out)

2) 私たちは先週パーティをしました。(have a party)

3) 明日はくもりになるでしょう。(cloudy, tomorrow)

4) 母が帰ってきたとき、私はテレビを見ていました。(watch TV, home)

- ③ 1) ~5) の書き出しの語句に続けて、自分や家族、友だちや知っている人のことを言いなさい。また、言った内容を書きなさい。

例 I want

→ (I want) to be a game designer. 私はゲームデザイナーになりたいです。

1) I'm

2) My mother

3) My brother

4) My neighbor

④ 次の英文を（ ）内の指示に従って書き換えなさい。

例 My father went to London last month. (否定文に)

→ My father didn't go to London last month.

私の父は先月ロンドンへ行きませんでした。

1) I am writing a science fiction novel. (過去進行形の文に)

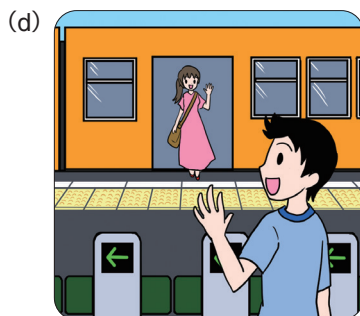
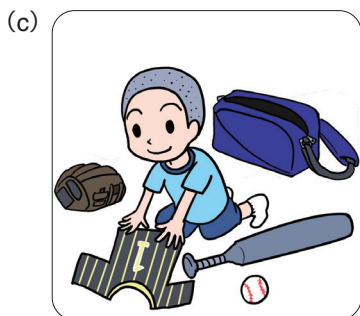
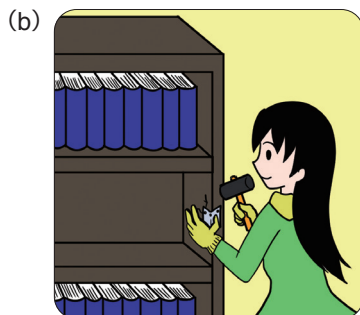
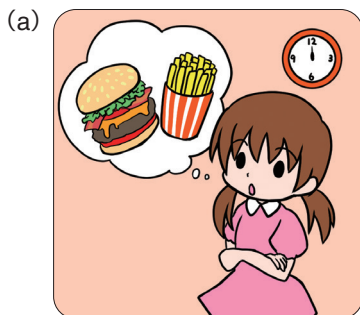
2) Our teacher taught us English presentation. (現在形の文に)

3) Your cousin lived in Chiba until last year. (疑問文に)

4) I will go to Singapore tomorrow. (現在進行形を使って未来を表す文に)

⑤ 次の1) から4) まではリスニングテストです。それぞれの問いについて、聞こえてくる英文の内容に最も近い絵を、(a) ~ (d) の四つの選択肢から一つずつ選びなさい。2回流します。

1) 2) 3) 4)





● ～する／～している

第1章では、日本語では「～している」と言うのに、英語では進行形にできない動詞について学びました。それについてもう少し掘り下げてみましょう。

英語の動詞には、①状態の意味しか持たないもの (know, like など)、②状態の意味と動作の意味を両方持つもの (have, look など)、③動作の意味しか持たないもの (eat, write など) があります。

①から③のどれかというのを見分けるポイントは、その状態や動作を自分の意志で瞬時に始めたりやめたりできるかどうかにあります。だれかを好きであることを気軽にやめることはできませんよね。一方で、食べることをすぐに始めたりやめたりすることは可能です。そのため、状態の意味しか持たない動詞は進行形にできません。

しかし、やっかいなのは、動作の意味しか持たない動詞で日本語が「～している」であるのに、英語では現在形を使う場合があるということです。

たとえば、SNSで「私はいつも放課後にピアノを練習しています。」という文をピアノの写真とともに英語でポストするとしましょう。「いつも」は always、「放課後に」は after school、「ピアノを練習する」は practice the piano です。では、「ピアノを練習する」の時制は現在形でしょうか、現在進行形でしょうか。

答えは現在形です。たしかに日本語は「練習している」です。しかし、practice は動作の意味しか持たない動詞です。しかし、放課後にピアノを練習しているのは「いま」だけのことでしょうか。いいえ、「いつも」です。つまり、この人の「習慣」を表しています。したがって、ここで現在進行形は使えません。

I always **practice** the piano after school.

このように、英語の現在形と現在進行形、日本語の「～する」と「～している」にはずれがあります。それぞれの特徴をしっかりと頭に入れておくことが大切です。

● 現在形と過去形

次に、現在形と過去形の違いについて考えてみましょう。

「疲れたなあ」というつぶやきを英語で言うとしたら、どんな表現が思いつきますか。「疲れた」だから、I **was** tired. でしょうか。しかし正解は I **am** tired. と現在形にします。日本語では「～した」と過去形でも、相手に伝えたい内容が「いま」のことを指している場合は、英語では現在形になるのです。例をあげましょう。

「わかったよ」→ I **understand**.

「準備はできた？」→ **Are** you ready?

いずれも、日本語では「～した」ですが、英語では現在形です。

また、ややこしいのは、過去形と現在形が混じる場合があることです。

たとえば、「時は金なり、って彼が言ったんだ」という台詞を英語で言いたいときはどうすればいいでしょうか。

「～って彼が言った」は He said that ～ です。 「時は金なり」は有名なことわざで time is money です。問題は is の時制をどうするかということです。たしかに彼がそう言ったのは「過去のある時点」ですが、「時は金なり」というのはいつの時代も変わらない真理と言えます。そうした場合、英語では現在形を使います。

He said that time **is** money.

英語で過去形を使うのは、「その事実は、現在にはすでに存在しないとき」と覚えておくときでしょう。

第二章

動詞の種類と時制②

はじめに

- ①— 現在完了形とは

基礎編

- ①— 現在完了形(完了)
- ②— 現在完了形(経験)
- ③— 現在完了形(継続)
- ④— 現在完了進行形

応用編

- ①— 過去完了形・過去完了進行形
- ②— 未来完了形・未来完了進行形